

外国語科3年生シラバス

1 外国語科の目標

簡単な情報や考えなどを理解したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力の育成を目指す

2 外国語を学ぶ意義

- 聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるため
- コミュニケーションを行う目的や場所、状況などに応じて、表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けるため
- 相手意識を持ちながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けるため

3 評価の観点について

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
趣 旨	知識：英語の特徴やきまりに関する事項を理解することができる 技能：実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題について、その内容を捉える技能を身に付けることができる	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合うことができる	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてやり取りしようとしている

4 主体的に学習に取り組む態度について

- ① 粘り強さ 例：言語活動を粘り強く行い、あきらめずに課題解決しようとする取り組みこと
例：相手意識を持ち、自分の考えや気持ちを伝えようとしている
- ② 外国語を学ぶ意義 例：相手意識を持ち、自分の考えや気持ちを伝え合おうとしている
- ③ 自らの学習の調整 例：振り返りカードを使って、学習計画や自分への振り返りをする事で、評価・改善をしようとしていること

5 外国語の勉強アドバイス

- ① 振り返りカードをポイントに従って、たくさん書きましょう。自己評価につながります。
- ② パフォーマンステストに向けては、しっかり準備をしましょう。
筆記テストだけが評価されるわけではありません。
- ③ 話す、書くなど表現する機会がたくさんありますが、積極的に取り組みましょう。
- ④ 宿題、プリントなど、課題を忘れずこなすようにしましょう。

外国語科 3年生 学習計画と評価基準について

節	学習時期	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
Unit 0	4月	【知識】現在形や過去形、becauseなどを用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】現在形や過去形、becauseなどを用いた文の理解をもとに、最近夢中になっていることやよくすること、その理由などについて伝え合う技能を身につけている。	クラスメートの新しい一面を知るために、最近夢中になっていることやよくすること、その理由などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、たずねたり答えたりしている。	クラスメートの新しい一面を知るために、最近夢中になっていることやよくすること、その理由などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、たずねたり答えたりしようとしている。
Unit 1	5月	【知識】現在完了形(経験用法)を用いた文、SVOC(C=形容詞)、SVOO(that節)の文の形・意味・用法を理解している。 【技能】現在完了形(経験用法)を用いた文、SVOC(C=形容詞)、SVOO(that節)の文の理解をもとに、経験や人の気持ちや状態の変化、人やものが私たちに伝えることについて伝え合う技能を身につけている。	海外の人に日本に興味を持ってもらうために、日本のポップカルチャーの魅力について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。	海外の人に日本に興味を持ってもらうために、日本のポップカルチャーの魅力について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。
Unit 2	5月	【知識】現在完了形(完了・継続用法)、現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】現在完了形(完了・継続用法)、現在完了進行形を用いた文の理解をもとに、今の状況や続いている状態や動作についての情報をたずね合う技能を身につけている。	エシカルな商品の特徴や長所を伝えるために、エシカルな商品をPRするためのポスターを、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて書いている。	エシカルな商品の特徴や長所を伝えるために、エシカルな商品をPRするためのポスターを、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて書こうとしている。
Unit 3	6月	【知識】〈It is ... (for + (人など)) + to〉の文、〈want + (人など) + to〉や〈let [help] + (人など) + 動詞の原形〉を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】〈It is ... (for + (人など)) + to〉の文、〈want + (人など) + to〉や〈let [help] + (人など) + 動詞の原形〉を用いた文の理解をもとに、人にとって大切だと思うことや、人にしてほしいことなどについて伝え合う技能を身につけている。	多くの人に絶滅のおそれのある動物の現状を知ってもらうために、減少の主な原因やその動物を守るために必要だと思うことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて記事を書いている。	多くの人に絶滅のおそれのある動物の現状を知ってもらうために、減少の主な原因やその動物を守るために必要だと思うことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて記事を書こうとしている。
Stage Activity 1	7月	【知識】Unit 3までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】Unit 3までの学習事項を用いて、日本や郷土の文化などについて、詳しい情報を加えて説明する技能を身につけている。	日本の魅力を知ってもらうために、日本や郷土の文化などの情報を整理して、日本文化を紹介するパンフレットを書いて説明したり、感想をたずね合ったりしている。	日本の魅力を知ってもらうために、日本や郷土の文化などの情報を整理して、日本文化を紹介するパンフレットを書いて説明したり、感想をたずね合ったりしようとしている。
Let's Read 1	7月	【知識】場面や人物の心情を表す表現を理解している。 【技能】場面や人物の心情を表す表現の理解をもとに、物語の流れに沿って場面の変化や登場人物の心情を読み取る技能を身につけている。	気持ちをこめて音読することができるように、背景知識を使い、物語の流れに沿った場面の変化や登場人物の心情が書かれた文章の概要を捉えている。	気持ちをこめて音読することができるように、背景知識を使い、物語の流れに沿った場面の変化や登場人物の心情が書かれた文章の概要を捉えようとしている。
Unit 4	9月	【知識】間接疑問文とSVOO(what節)の文、現在分詞・過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】間接疑問文とSVOO(what節)の文、現在分詞・過去分詞を用いた文の理解をもとに、何かを知っていると伝えたり、言葉に情報を加えたりして、事実や気持ちを話す技能を身につけている。	防災・安全への意識を高めるために、地域の一員としての防災への取り組みについてどんな助け合いができるか、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。	防災・安全への意識を高めるために、地域の一員としての防災への取り組みについてどんな助け合いができるか、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。

Unit 5	10月	【知識】名詞を修飾する文と、関係代名詞 who, that [which] (主格・目的格) を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】名詞を修飾する文と、関係代名詞 who, that [which] (主格・目的格) を用いた文の理解をもとに、詳しい情報を加えて、どのような人か、どのようなものかを話す技能を身につけている。	理想のリーダーとはどのような人かを伝えるために、理想のリーダーであるための情報について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。	理想のリーダーとはどのような人かを伝えるために、理想のリーダーであるための情報について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。
Stage Activity 2	10月	【知識】Unit 5までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】Unit 5までの学習事項を用いて、これまでの経験をふり返って活動報告をする技能を身につけている。	自分のことをよりよく知ってもらうために、部活動や委員会などの活動について、活動報告の構成を理解したうえで、自分の経験や感想などを即興で話したり、まとまりのある文章を書いて発表したりしている。	自分のことをよりよく知ってもらうために、部活動や委員会などの活動について、活動報告の構成を理解したうえで、自分の経験や感想などを即興で話したり、まとまりのある文章を書いて発表したりしようとしている。
Unit 6	11月	【知識】仮定法と主語を説明する関係代名詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】仮定法と主語を説明する関係代名詞を用いた文の理解をもとに、現実とは異なる願い事やできたいと思うことを伝え合う技能を身につけている。	国を超えて助け合うことの大切さについて考えるために、地球市民としての抱負について、事実や自分の願い、思いを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合っている。	国を超えて助け合うことの大切さについて考えるために、地球市民としての抱負について、事実や自分の願い、思いを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合おうとしている。
Stage Activity 3	12月	【知識】Unit 6までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】Unit 6までの学習事項を用いて、ある論題について賛成・反対の立場を決めて、主張とその理由を明確にしながら、意見を伝え合う技能を身につけている。	物事を論理的・多面的に考えて説得力のある主張ができるようになるために、社会的な話題について書かれた文章を参考に、賛成・反対の立場を決めてグループでミニディベートを行い、論点に沿った主張をしている。	物事を論理的・多面的に考えて説得力のある主張ができるようになるために、社会的な話題について書かれた文章を参考に、賛成・反対の立場を決めてグループでミニディベートを行い、論点に沿った主張をしようとしている。
Let's Read 2	1月	【知識】長所と短所を比較して述べる文章の構成を理解している。 【技能】長所と短所を比較して述べる文章の構成の理解をもとに、エネルギー問題について書かれた文章の内容を読み取る技能を身につけている。	自分の考えや意見を述べるができるように、さまざまなエネルギー問題について書かれた説明文の概要を捉えている。	自分の考えや意見を述べるができるように、さまざまなエネルギー問題について書かれた説明文の概要を捉えようとしている。
Let's Read 3	2月	【知識】人物について書かれた伝記の文章構成を理解している。 【技能】人物について書かれた伝記の文章構成の理解をもとに、その人物の歩みと功績を読み取る技能を身につけている。	自分の感想を述べるができるように、エリック・カールについて書かれた伝記を読んで、その歩みや功績と、彼の絵本にこめられたメッセージを読み取っている。	自分の感想を述べるができるように、エリック・カールについて書かれた伝記を読んで、その歩みや功績と、彼の絵本にこめられたメッセージを読み取ろうとしている。
具体的な評価の方法		① 授業中に生徒の言語活動の取り組み状況を観察する。(思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度) ② 課題で提出した英文の評価及びインタビューテストをする。(知識・技能) ③ Mini Activityの活動で使用したワークシートやノートで理解度や取り組み状況などを評価する。(知識・技能) ④ Unit Activityの活動で使用したワークシートやノートで理解度や取り組み状況などを評価する。(思考・判断・表現) ⑤ 本文の音読を教員または生徒同士が評価する。(知識・技能、思考・判断・表現) ⑥ 本文の内容について聞いたり読んだりしたことを、筆記テストをする。(知識・技能、思考・判断・表現) 小テスト/中間・期末考査など ⑦ テーマの説明に用いられる語句や文法事項及び表現を理解しているか筆記テストをする。(知識・技能) ⑧ 活動報告のパフォーマンステストをする。(知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)		

技術・家庭科（技術分野）3年生シラバス

1 技術分野の目標

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成する。

2 技術分野を学ぶ意義

生活や社会を支える技術を理解できるようになる。

生活や社会の中で見つけた課題を解決する方法を考え、よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて工夫し創造できるようになる。

3 評価の観点について

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
趣 旨	生活の中で利用されている技術の基礎的な理解を図るとともに、それらに関わる技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

4 主体的に学習に取り組む態度について

- ① 粘り強さ 例：技術の課題を粘り強く考え、あきらめずに解決しようと取り組むこと
- ② 技術を学ぶ意義 例：技術を実際の生活や学習に生かそうとしていること
- ③ 自らの学習の調整 例：課題解決の過程を振り返って評価・改善をしようとしていること

5 技術分野のアドバイス

- ① 技術に関わる原理・法則を自分の言葉で説明できるようにしましょう。
- ② 道具の安全・適切な使い方を自分の言葉で説明できるようにしましょう。
- ③ 技術の最適化の視点で考えましょう。

技術・家庭科（技術分野） 3年生 学習計画と評価基準について

節	学習時期	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
エネルギー変換の技術	1～5回目	電気、運動、熱の特性等の原理・法則と、エネルギーの変換や伝達等に関わる基礎的な技術の仕組み及び保守点検の必要性について説明できる。	技術に込められた問題解決の工夫について考えることができる。	主体的にエネルギー変換の技術について考え、理解しようとしている。
情報の技術	6～17、5回目	- 情報の表現、記録、計算、通信の特性等の原理・法則と、情報のデジタル化や処理の自動化、システム化、情報セキュリティ等に関わる基礎的な技術の仕組み及び情報モラルの必要性について説明できる。 - 情報通信ネットワークの構成と、情報を利用するための基本的な仕組みを理解し、安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。 - 生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解することができる。	- 技術に込められた問題解決の工夫について考えることができる。 - 問題を見いだして課題を設定し、使用するメディアを複合する方法とその効果的な利用方法等を構想して情報処理の手順を具体化するとともに、制作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えることができる。 - 技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えることができる。	- 主体的に情報の技術について考え、理解しようとしている。 - よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。 - よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を工夫し創造しようとしている。
具体的な評価の方法		定期テスト・ワークシート・作品	定期テスト・ワークシート・作品	振り返り・授業観察

技術・家庭（家庭分野）３年生シラバス

1 家庭科の目標

生活の基盤となる家庭や家族の機能を理解し、衣食住などの生活にかかわる基礎的・基本的な知識及び技術を習得する。

2 家庭科を学ぶ意義

家庭での生活の自立ができるようになる。
家庭生活をよりよく豊かに創造しようとする能力と態度が育成される。

3 評価の観点について

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
趣 旨	知識：生活と技術について理解できる。 技能：生活と技術に係る技能を身につけることができる。	思考：生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決策を構想することができる。 判断：生活や社会の課題の解決策を実践し、評価・改善することができる。 表現：生活や社会の課題の解決策の実践・評価・改善を表現することができる。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

4 主体的に学習に取り組む態度について

- ① 粘り強さ 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとする。
- ② 家庭を学ぶ意義 生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識と技術を身に付ける。
- ③ 自らの学習の調整 粘り強い取り組みを行う中で、課題解決に主体的に取り組む、振り返って改善したりして生活を工夫し創造し実践しようとしている。

5 家庭の勉強アドバイス

- ① 学校で勉強した知識・技術は家で積極的に実践しましょう。
- ② レポート等、家庭生活に結び付いた宿題にしっかり取り組みましょう。

6 使用教材・もちもの

- 使用教材 ① 教科書（東京書籍）
② 技術家庭ノート家庭分野（正進者）
- 持ち物 ①教科書
②技術家庭ノート家庭分野
③ファイル（配布プリント）
④実習時には必要な物

技術・家庭（家庭分野） 3年生 学習計画と評価基準について

節	学習 時期	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
5 編私 2章 幼 児 の 成 長 と 家 族 ・ 地 域	4 月 5 ・ 1 1 月	・自分の成長と家族や家庭生活との関わりが分かり、家族・家庭の基本的な機能について理解できるとともに、家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要性があることに気付くことができる。 ・幼児の発達と生活の特徴が分かり、子どもが育つ環境としての家族の役割について理解することができる。 ・幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解することができる。	・幼児との関わり方について学んだことを生活や学習に生かすことができる。	・家族や地域の人々と協働し、より良い生活の実現に向けて、幼児の生活と家族について、課題の解決に主体的に取り組んだり振り返って改善したりして、生活に生かそうとしている。
3 章 こ れ か ら の 家 族 と 地 域	1 2 月 5 ・ 2 2 月	・家族の互いの立場や役割が分かり、協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解することができる。 ・家庭生活は地域との相互の関係で成り立っていることが分かり、高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者との関わり方について理解することができる。	・家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり協働する方法について学んだことを生活や学習に生かすことができる。	・家族や地域の人々と協働し、より良い生活の実現に向けて、家族・家庭や地域との関わりについて課題の解決に主体的に取り組んだり振り返って改善したりして、生活に生かそうとしている。
具 体 的 な 評 価 の 方 法		・定期テスト・授業中の活動、発言等・レポートなどの提出物の内容、作品・行動観察	・定期テスト・授業での活動、発言・ワークやレポート等の提出物の内容、作品	・定期テスト・授業中の活動、発言・ワークやレポート等の提出物の内容・作品・自己評価・行動観察

保健体育科3年生シラバス

1 保健体育科の目標

- ①運動の楽しさや喜びを知る
- ②運動をして体力をつけることの必要性を知る
- ③自分の課題を見つけることができるようになり、それを友達に相談したり解決できるように話し合ったりできるようになる
- ④試合や競争を通じて、公正に取り組むこと、仲間と協力すること、自分の責任を果たす、一人ひとりの違い大切にしようとする
- ⑤健康・安全について理解する、健康についての自分の課題に気づく

2 保健体育を学ぶ意義

心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康の維持やより良くできるようなスポーツライフを実現する

3 評価の観点について

観点3つ	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
頑 張 っ て ほ し い 事	①選択した運動の技の名称や 行い方を理解する ②体力の高め方や運動観察の 方法を理解する ③スポーツを行う際の健康・ 安全の確保の仕方についての 具体的な方法を知り行うこと ができる ④文化としてのスポーツの意 義についての考え方を理解し ている ⑤運動の特性に応じた基本 的な技能を身に付けている	①自分や仲間の課題を発見する ②課題解決に向けて、運動の取 組み方や目的に応じた運動の組 み合わせ方を工夫している ③自分や仲間の考えたことを友達 や先生に伝えたり、発表したりす ることができる（振り返りシー ト・ロイロノートに・レポート記 入できている）	①健康・安全を確保して積極的、自主的に授業に参加 しようとしている（出席・遅刻・忘れ物が影響） ②試合を行う時に、公正、仲間と協力、自分の責任を 果たす、作戦会議や練習計画に参加しチームワークを よりよくしようと工夫している ③その日の自分の課題を見つけて、次の授業でよりよ くするための工夫をしようとしている（振り返りシー ト・ロイロノート・レポートに記入できている）

4 主体的に学習に取り組む態度について

- ① 粘り強さ 例：健康・運動の自分の課題を粘り強く考え、友達と比較しながら諦めずに解決しようと取り組むこと
例：苦手な種目にも積極的に取り組むこと
- ② 自らの学習の調整 例：課題解決の過程を振り返って、評価・工夫・改善をしようとしていること
（振り返りシート・ロイロノート・レポートに記入できていること）

5 保健体育の勉強アドバイス

【単元別テスト・期末テスト・レポート】

- ①保健の教科書、保体資料ノートの内容を覚える
- ②種目のルールや何故その種目ができたのか（歴史）を覚える
- ③自分の課題を解決していくためにどうすればいいのか、レポートにまとめる

【実技】

- ①一生懸命（精一杯）行う
- ②ほかの人と比較するのではなく、自分がどのくらい上達したのか（タイムならどれだけ縮んだのか）を重視して活動する
- ③毎回安全かつルールを守り参加する

【学習計画】

	4月～	5月～	6月～	7月～	9月～	10月～	11月～	12月～	1月～	2月～	3月～
行う種目	集団行動 体づくり運動 1-3	体力テスト	陸上競技 （リレー・短距離走） バレーボール	水泳 体づくり運 動4-7	卓球 器械運動		ソフトボール バドミントン	陸上競技 （長距離走）	サッカー バスケットボール		
毎回の授業ですること	集合・整列・ラジオ体操										
保健編		環境への適応能力 活動に適する環境 熱中症の予防と手当 飲料水の衛生的管理 室内の空気の衛生的管理 生活に伴う医薬品の衛生的管理		放射線と健康 感染症の広がり方 感染症の予防 性感染症の予防 エイズの予防 医薬品の利用					保健・医療機関の利用 健康を守る社会の取り組み 保健の学習を振り返ろう		
体育編	現代社会におけるスポーツの文化的意義				国際的なスポーツ大会の役割				人々を結びつけるスポーツ		

保健体育科 3 年生 評価規準について

【評価規準】

運動領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ラジオ体操	体操の順番を覚え、体の使っているところを意識しながら体操することができる。	その日に行う運動で使う部位をより意識して毎日体操を行うことができる。	健康・安全に気を付けながら、積極的に取り組もうとしている。
体づくり運動	○知識 ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 ※「体づくり運動」の体づくりの運動は、技能の習得・向上をねらいとするものでないこと、実生活に生かす運動の計画を立てることが生きた目的となることから、「技能」の詳細規準は設定していない。	・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人ひとりの違いに応じた動きなどを大切にしようとし、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保したりしている。
行軍・行動	号令に対する動きを理解し、行動することができる。	全員の動きが揃うように動きを見比べ、完成したものを発表することができる。	集団行動に意欲的に取り組もうとしている。授業の内容に対する課題に自ら気づき、次の授業の活動をよりよくするために工夫をしようとしている。
体力テスト	テストの名前を正しく理解し、自分の力を最大限に発揮することができる。	自分と他者の行い方を比べよりよい記録ができるように工夫することができる。	体力テストに意欲的に取り組もうとしている。自分の記録に対する課題に自ら気づき、今後の自分の記録をよりよくするために工夫をしようとしている。
器械運動	○知識 ・それぞれの種目や技などにより、主として高まる体力要素が異なることや、技を行うための合理的な動き方のポイントを理解することができる。 ○技能 ・全身を支えたり突き放したりするための着手の仕方、回転力を高めるための動き方、起き上がりやすくなるための動き方などを実践し、基本的な技の一連の動きを滑らかに行うことができる。 ・学習した基本的な技を発展させて、一連の動きで行うことができる。	・動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 ・自分と友達を比べて、課題に気づき仲間とともに課題を解決することができる。	・器械運動に積極的に取り組むとともに、出来栄の良い技や演技に称賛の声をかけるなど、仲間の努力を認めようとし、練習の補助や助言により仲間の学習の援助をしたりしようとしている。 ・健康・安全に気を配り、自己の課題に気づき、技の完成に向けて工夫した練習を行うようとしている。
陸上競技（リレー、短距離走、長距離走）	○知識 ・陸上競技の技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能 ・短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡しで次走者のスピードを十分高めることができる。 ・長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。 ・ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低く跳ぶことができる。 ・走り幅跳びでは、スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳ぶことができる。 ・走り高跳びでは、リズムカルな助走から力強く踏み切り滑らかな空間動作で跳ぶことができる。	・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	・陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、自己の責任を果たそうとすること、一人ひとりの違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。
バレーボール・バドミントン・卓球・サッカー	○知識 ・球技の技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能 ・ゴール型では、安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻撃をすることができる。 ・ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻撃をすることができる。 ・ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻撃をすることができる。	・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人ひとりの違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしようとし、健康・安全を確保したりしている。
水泳	○知識 ・水泳の技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能 ・クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。 ・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。 ・背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができる。 ・バタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができる。 ・複数の泳法で泳ぐこと、又はリレーをすることができる。	・泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	・水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、自己の責任を果たそうとすること、一人ひとりの違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしようとし、健康・安全を確保している。
健康と環境	・身体や環境に対する適応能力・至適範囲、飲料水や空気の衛生的管理および生活に伴う廃棄物の衛生的管理など、健康と環境の関わりについて理解している。	・健康と環境に関わる事象や情報を基に課題を発見し、健康の保持増進のための原則や概念を明らかにするための科学的に思考・判断して、それらを他者に伝えたり、表したりしている。	・健康と環境について関心を持ち、主体的に学習の進め方を工夫・調整し、粘り強く学習に取り組もうとしている。
疾病の予防生活③と	・感染症の予防および個人の健康を守る社会の取り組みについて、理解している。	・感染症の予防および個人の健康を守る社会の取り組みに関わる事象や情報を基に課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりの視点から解決を目指して科学的に思考・判断し、それらを他者に伝えたり、表したりしている。	・感染症の予防および個人の健康を守る社会の取り組みについて関心を持ち、主体的に学習の進め方を工夫・調整し、粘り強く学習に取り組もうとしている。
スポーツとしての文化	・文化としてのスポーツの意義について、理解している。	・文化としてのスポーツの意義について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考・判断するとともに、それらを他者に伝えたり、表したりしている。	・文化としてのスポーツの意義について関心を持ち、主体的に学習の進め方を工夫・調整し、粘り強く学習に取り組もうとしている。
具体的な評価方法	定期テスト・単元別テスト・レポート・実技テスト・授業での成長・授業の様子・提出物	授業中の仲間との関わり方・発表・発言・振り返りシート・ロイロノートの内容	出席・遅刻・忘れ物・授業中の行動や発言・授業での成長・振り返りシート・ロイロノートの内容

音楽科3年生シラバス

1 音楽科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

2 音楽科を学ぶことの意義

- ・音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を演奏したり聴いたりすることが好きになる。
- ・色々な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、自分でも創意工夫して表現することができるようになる。
- ・美しい音楽を聴いて感動し、色々な音楽を自分から鑑賞することができるようになる。

3 評価の観点について

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
趣 旨	知識：音楽を表現・鑑賞するために、その背景にある仕組みや歴史等を理解することができる。 技能：創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	思考：その音楽がなぜ美しいと感じたり感動したりするのかを考察することができる。 判断：今の自分の現状を分析して課題を見つけ、その解決法を選ぶことができる。 表現：より美しく感動的な表現をするために創意工夫をすることができる。	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

4 主体的に学習に取り組む態度について

- ①粘り強さ(例):音楽科の課題を粘り強く考え、あきらめずに解決しようと取り組むこと。
(例):自分の考えを更に深めるために、友達の意見も聞き、一緒に答えを導き出すこと。
- ②音楽を学ぶ意義(例):音楽科で学んだ事柄を次の学習や実際の生活に生かそうとしていること。
- ③自らの学習の調整(例):課題解決の過程を振り返って評価・改善をしようとしていること。

5 音楽科の勉強アドバイス

- ①授業での表現活動(歌唱や楽器演奏など)は、恥ずかしがらずに積極的に、楽しみながら一生懸命やりましょう。
- ②必要な知識や技能が定着するよう、最後まであきらめずに取り組みましょう。

音楽科 3年生 学習計画と評価基準について

節	学習時期	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
楽典	4月～3月	様々な音符や休符、音楽記号など基礎的な名前や意味などを理解している。	それぞれの記号の特徴をふまえ、演奏でどのような表現がふさわしいか、生み出す効果について考える。	それぞれの記号の特徴に関心を持ち、ワークシートにまとめるなど主体的に学習活動に取り組もうとしている。
「花の街」	4月	「花の街」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容とのかかわり、背景を理解している。また、これらの曲を美しく感動的に歌うために必要な発声や身体を使い方などの技能を身に付け、歌唱で表現している。	「花の街」を現状に対して、より美しく感動的な歌唱表現をするために必要な要因を考え、創意工夫することができる。	「花の街」の曲の背景の理解や歌唱練習に対して、主体的・協働的に取り組もうとしている。
合唱曲に親しむ	4月～7月	・合唱を通じた音楽の美しさや感動を理解し、楽しみながら合唱することができる。	思いや意図を持ってその曲にふさわしい、創意工夫した合唱表現をすることができる。	主体的・協働的に恥ずかしがらずに合唱を通じた音楽表現に取り組もうとしている。
ブルタバ	5月～6月	「ブルタバ」の曲想と音楽の構造・背景や演奏形態、スメタナの生涯について理解している。	「ブルタバ」の演奏を鑑賞し、そこから生まれる感動の要因について考えることができる。	「ブルタバ」が表す背景及び曲の表情や味わいに関心を持ち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
リコーダー	5月～7月	アルトリコーダーの演奏技能を身につけ、美しく曲を演奏表現できる。	アルトリコーダーで美しい演奏をするために必要な要素を考え、創意工夫している。	アルトリコーダーで曲を演奏できる喜びを目指し、主体的・協働的に練習に取り組もうとしている。
全校合唱 学年・合唱	7月～10月	文化祭で学年・全校で合唱発表するために必要な美しい発声、正しい音程での歌唱などの技能を身に付け、表現している。	現状に対して、より美しく感動的な合唱表現をするために必要な要因を考え、創意工夫することができる。	学年・全校合唱の練習に対して、パートやクラスで主体的・協働的に参加しようとしている。
バレエ音楽「ボレロ」	11月～12月	「ボレロ」の演奏を鑑賞することを通して、オーケストラの表現形態を理解し、その楽しさや感動を味わうことができる。	「ボレロ」を鑑賞し、そこから生まれる感動の要因について考えることができる。	バレエ音楽の特徴やその作品に興味関心を持ち、主体的に鑑賞活動に取り組もうとしている。
伝統音楽 日本の音楽	1月～2月	雅楽「越天楽」の曲想と音楽の構造や、各楽器の構造や演奏法について理解している。	雅楽「越天楽」の演奏を鑑賞し、そこから生まれる感動の要因について考えることができる。	雅楽「越天楽」鑑賞活動や、その背景の理解について、主体的に取り組むことができる。
卒業式	1月～3月	卒業式における「君が代」「校歌」「式歌」の意味を理解し、それらを美しく感動的に演奏することができる。	現状に対して、より美しく感動的な合唱表現をするために必要な要因を考え、創意工夫することができる。	曲の背景の理解や歌唱練習に対して、主体的・協働的に取り組もうとしている。
評価の方法 具体的な		行動観察、発言、発表、ワークシート、実技テスト、ロイロでの振り返り、定期テストなど	発言、発表、ワークシート、ロイロでの振り返り、実技テスト・定期テストなど	行動観察、発言、発表、ワークシート、ロイロでの振り返り、実技テストなど

美術科 3年生 シラバス

1.美術分野の目標

美術の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる脂質・能力を育成を目指す。

2.美術の分野を学ぶ意義

- ・生徒の学習を積極的に評価し、学習全般の意義や価値を実感できるようになるため。
- ・生徒自身が自分の学習や仕事の見通しをたてられるようになり、学習や仕事の過程や成果を評価し、自身で改善や学習意欲の向上を図り資質・能力の育成に活かせるようになること。
- ・生徒自身で創意工夫し、自身の学習の成果が円滑に接続されるように工夫することができるようになること。

3.評価の観点について

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	知識：対象や事象を捉える造形的な視点について理解することができる。 技能：意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。	思考：自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさの調和、美術の働きなどについて考えることができる。 判断：主題を生み出すことができる。 表現：豊かに発想し構想を練ることができる。また、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができる。	美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとすることができる。

4.主体的に学習に取り組む態度について

- より良い表現を目指して構想を工夫改善すること
例 アドバイスなども聞きつつ、自分のアイデアをより良くすることに取り組む
- 粘り強く取り組む態度が感じられること
例 与えられた時間の中で、創意工夫しながら良い作品(良い考え)になるように取り組む
- 美術の知識及び技能を使い、創造活動の喜びを感じ取っていることが確認できること
例 私たちの社会の中や生活の中に学習を活かすことができる
- 例 授業中や学校や社会の中で、作品などを楽しく鑑賞することができる

美術科 3年生 学習計画と評価基準について

	教科書見出し	学習時期	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
デザイン・工芸の分野	つくって味わう 工芸1	1回～4回	知識：形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴や技法などを基に、良さや美しさを伝えることを理解している。	発想：材料のよさや美しさを基に、使いやすさや機能と材料の特性や効果などとの調和を総合的に考え、表現する構想を練ることができる。 鑑賞：人の手による技の素晴らしさや工芸作品の美しさなどを感じ取り、工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めようとしている。	態度表現：美術の創造活動の喜びを味わい主体的に材料の特性や機能性などを生かしてつくることを考えて構想を練ったり、表現方法を創意工夫し見通しを持って創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態度鑑賞：美術の創造活動の喜びを味わい主体的に人の手による技の素晴らしさや工芸作品の美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	鑑賞	5回	知識：形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などが作者の意図や美しさを伝えることを理解している。	鑑賞：使う人の立場や使う場面との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫や、生活や社会を豊かにする美術の働きについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めようとしている。	態度鑑賞：美術の創造活動の喜びを味わい主体的に使う人の立場や使う場面との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫や、生活や社会を豊かにする美術の働きについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	つくって味わう 工芸1	8回～16回	知識：材料の特性や質感、それらが感情にもたらす効果や、造形的な特徴や加工方法が、材料の持ち味や、全体のイメージを伝えることを理解している。 技術：材料や用具などの特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫し、制作順序などを総合的に考えつつ、見通しを持って創造的に表すことができる。	発想：材料のよさや美しさを基に、使う場面や機能などから主題を生み出し、使いやすさや機能と材料の特性や効果などとの調和を総合的に考え、表現する構想を練ることができる。 鑑賞：使う目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めようとしている。	態度表現：美術の創造活動の喜びを味わい主体的に材料の特性や機能性などを生かしてつくることを考えて構想を練ったり、表現方法を創意工夫し見通しを持って創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態度鑑賞：美術の創造活動の喜びを味わい主体的に使う目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
絵画・彫刻の分野	今を生きる私へ	17回～28回	知識：構図や顔の角度、表情やしぐさ、背景や色彩などが感情にもたらす効果や、自分の印象などを見る人に伝えるをことを理解している。 技術：材料の特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫して創造的に表すことができる。	発想：自分の姿を深く見つめ感じ取ったことや心の内面などを基に主題を生み出し、構図や表情などの効果を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。 鑑賞：造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めようとしている。	態度表現：美術の創造活動の喜びを味わい主体的に自分の姿から感じ取ったことや心の内面などを基に構想を練ったり、構図や表情など意図に応じて表現方法を創意工夫して創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態度鑑賞：美術の創造活動の喜びを味わい主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表情の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	なんでこれが美術	29回～35回	知識：様々な芸術や造形物を知ることで、現代芸術の流れやイメージなどを理解している。その良さや美しさや考えを理解している。	鑑賞：現代美術の美しさ、面白さを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めようとしている。	態度鑑賞：美術の創造活動の喜びを味わい主体的に現代美術の面白さや考えなどに関心を持ってよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
具体的な評価の方法			作品・制作過程のすべて・ワークシート・発言・定期テスト	作品・制作過程のすべて・ワークシート・発言・定期テスト	作品・制作過程のすべて・ワークシート・発言

特別支援学級について

特別支援学級では、生徒の実態に合わせて下記のような学習を行います。

① 「自立活動」

ねらい

個々の生徒が自立を目指し、障がいによる学習や生活上の困難を主体的に改善したりそれに対して対処する方法を身に付けるために、必要な知識・技能・態度及び習慣を養い、心身の調和的発達の基盤を養う。

例：体力向上、コミュニケーション活動、ソーシャルスキルトレーニング、ビジョントレーニング、認知トレーニング、活動の見通しをたてる時間など。

② 「生活単元学習」

ねらい

生徒が、生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために、一連の活動を組織的に経験することによって、自立的な生活に必要な事柄を学習する。

例：園芸、手先の緻密性を高める作業学習、創作活動、調理実習など

③ 「教科学習」

ねらい

社会に出て、最低限必要な学力を身に付ける。

例：体験学習などを通して、経験を積み重ね、生活に即した学力をつける。

こくさいきょうしつ
Q: 国際教室ってどんなところですか？

⇒ A: 外国につながる生徒のみなさんのための場所です。

1. 日本に来て間もないみなさん

日本に来たばかりのみなさんには、日本語の授業はもちろん、教科の勉強の支援や母国では学んでいない学習内容の補習、学校生活や行事の事前学習、文化や習慣の違いによる悩み相談など、安心して東橋内中学校で過ごせるためのサポートを幅広く行っています。

2. 日本での生活が長いみなさん

日本の生活に慣れていて、日常生活の日本語にはあまり困っていないけれど、教科の勉強の日本語に困り感がある生徒のみなさんには、普通教室での授業のサポートを行っています。



3. 日本語能力試験への対応

国際教室では日本語を母語としない生徒のみなさんを対象に、日本語能力を測る「日本語能力試験」の対策も行っています。「日本語能力試験」に合格すると、学校での単位・卒業資格認定や、企業での優遇、社会的資格認定などさまざまなメリットがあり、将来日本の企業で働きたいと思っているみなさんには受験を強くおすすめしています。レベルはN1（幅広い場面で日本語を使うことができるレベル）からN5（基本的な日本語をある程度理解することができるレベル）までの5つで、本校に在学している間には、N3（日常的な場面で使われる日本語をある程度理解できるレベル）を取得することが目標です。今からチャレンジすることで、自分の将来にぜひつなげてください。



国際教室は、勉強だけではなく、外国につながるみなさんが

困ったときに頼れる場所です。

困ったことがあればぜひ、国際教室に来てください。

おわりに

この「学習の手引き」を大いに活用し、より充実した学習活動を自主的に展開してくれることを期待しています。そして、これからの進路選択や人生選択において、「自己実現」し、最適な道を見つけ出す力を身に着け、輝く未来に歩み出してくれることを願っています。

学習の手引き

令和7年5月23日 第1刷発行

発行所 津市立東橋内中学校
津市中河原 356 番地 2
TEL 059-228-2624
FAX 059-228-2628
E-mail j2282624@res-edu.ed.jp